

【総合的な探究の時間】

地域産業と多文化共生の実態に迫る！福伸電機株式会社 企業訪問・見学レポート

8月4日、本校2年生の生徒3名（引率：佐々木教諭）が「総合的な探究の時間」の一環として、地元・福崎町に本社を置く福伸電機株式会社を訪問し、会社説明・外国人社員へのインタビュー・本社工場見学を行いました。福崎駅周辺で暮らす外国人の多さやメディア報道での印象を踏まえ、実情の理解と地元「ものづくり企業」への学びを深めることを目的としています。

1. ベトナム社員との多文化交流インタビュー 現場で活躍するベトナム社員3名と通訳の方を交え、Q&A形式のインタビューを実施しました。日本のアニメ（『鬼滅の刃』『ワンピース』等）への興味や来日の動機から、宗教・習慣の違い（寺社参拝の作法、ゴミ分別、湯船文化など）、仕事観や日本語の壁といったリアルな体験談を伺いました。「国籍を問わず助け合う職場の温かさ」や「多工程を担うやりがい」に触れ、多文化共生の実態を直接感じる貴重な機会となりました。

【写真1】

- 大型モニターの前に立ち、スライドを用いて解説・意見交換をする様子
会社概要や多角化経営、多文化共生の取り組みについて解説を受ける様子。



2. 現場の「ものづくり」と品質管理を体感する工場見学

工場見学はヘルメットを着用し、本社工場内の生産ラインを見学しました。作業員とフォークリフトの動線分離などの安全対策や、徹底された 5S 活動（整理・整頓・清潔・清掃・躰）、画像判定システムを用いた精密な品質管理の工程を間近で観察しました。



📷【写真2】

- **写真内容:** ヘルメットを装着し、アクリルカバー越しに精密機械の自動化ラインを注視する様子。自動化ラインと厳格な品質管理を目の当たりにしました。

3. 「総合的な探究の時間」の活動の成果と今後の展望

今回の訪問を通じて、生徒からは「福崎町が外国人にとっても魅力的な地域である理由が実感できた」「現場で働く人々の工夫や協力体制に感動した」といった感想が寄せられました。今後は夏休み明けに、取材成果のまとめとプレゼンテーション準備を進めていきます。